

令和5年度 県政世論調査結果の概要

○各調査項目の概要

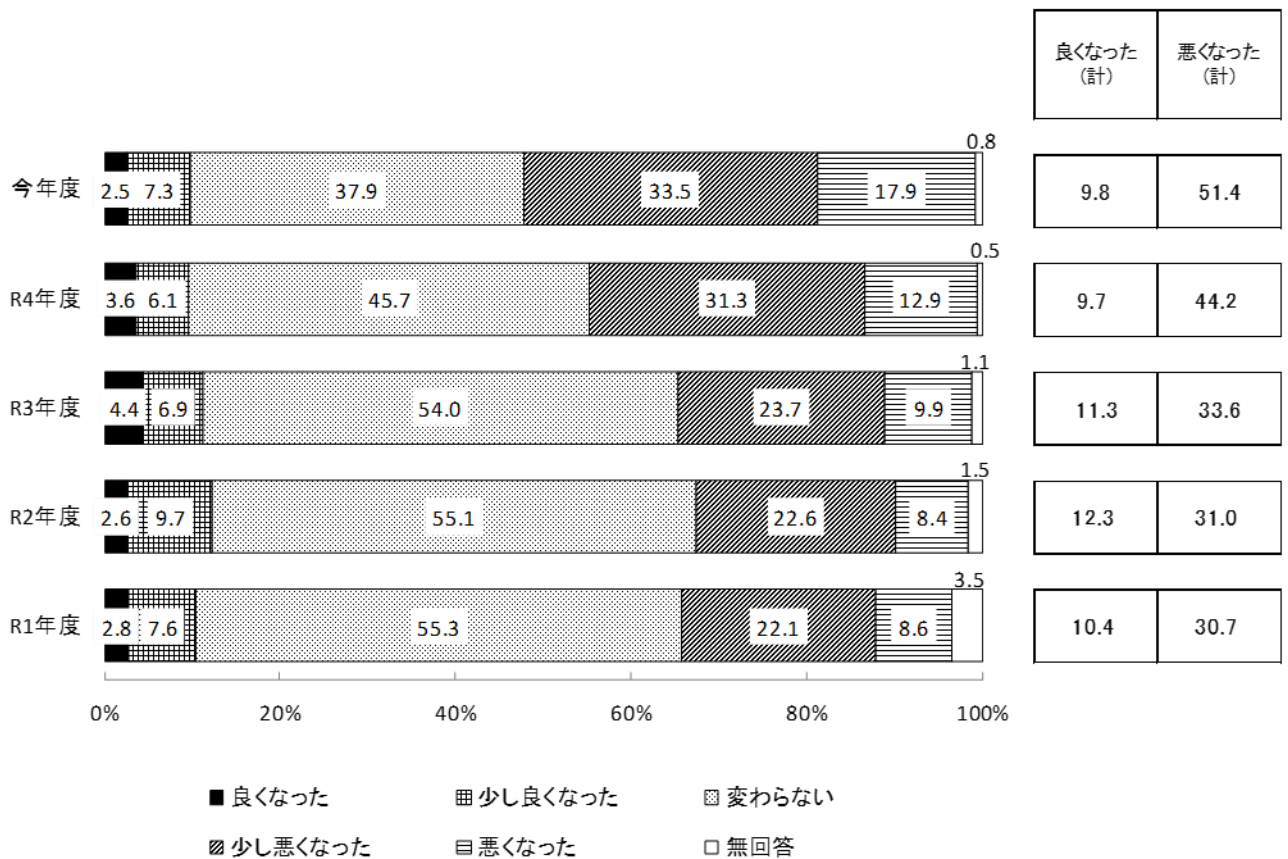
※調査結果のうち、主なものを抜粋して掲載している。
 ※数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計しても100.0%にならない場合がある。

1 県民の生活実感

○2～3年前に比べた暮らし向きの変化

2～3年前に比べた暮らし向きは、「良くなった」と「少し良くなった」を合わせた『良くなった(計)』が9.8%、「悪くなった」と「少し悪くなった」を合わせた『悪くなった(計)』が51.4%となっている。

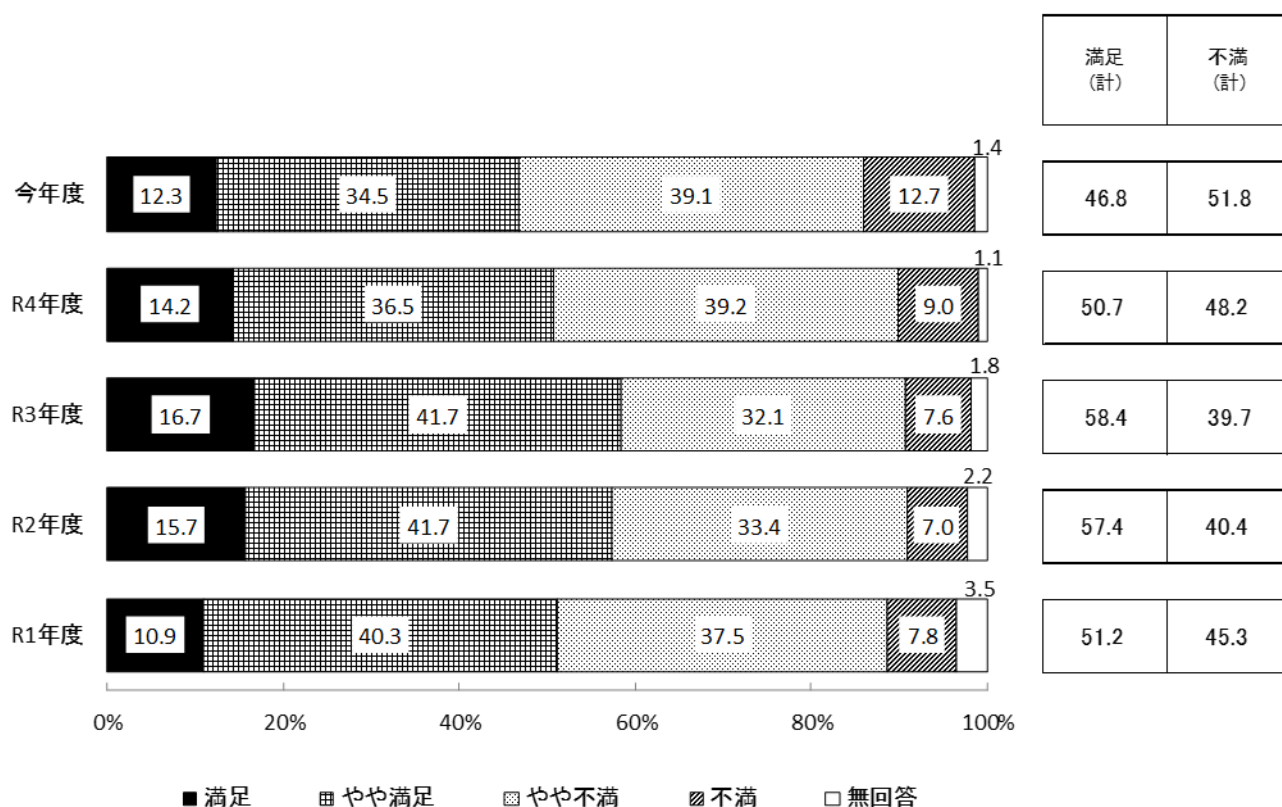
直近5年間の回答状況をみると、『良くなった(計)』は1割前後で推移し、『悪くなった(計)』は3割から5割に増加している。



○現在のくらし向きの満足度

現在のくらし向きに関する満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足（計）』が46.8%、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満（計）』が51.8%となっている。

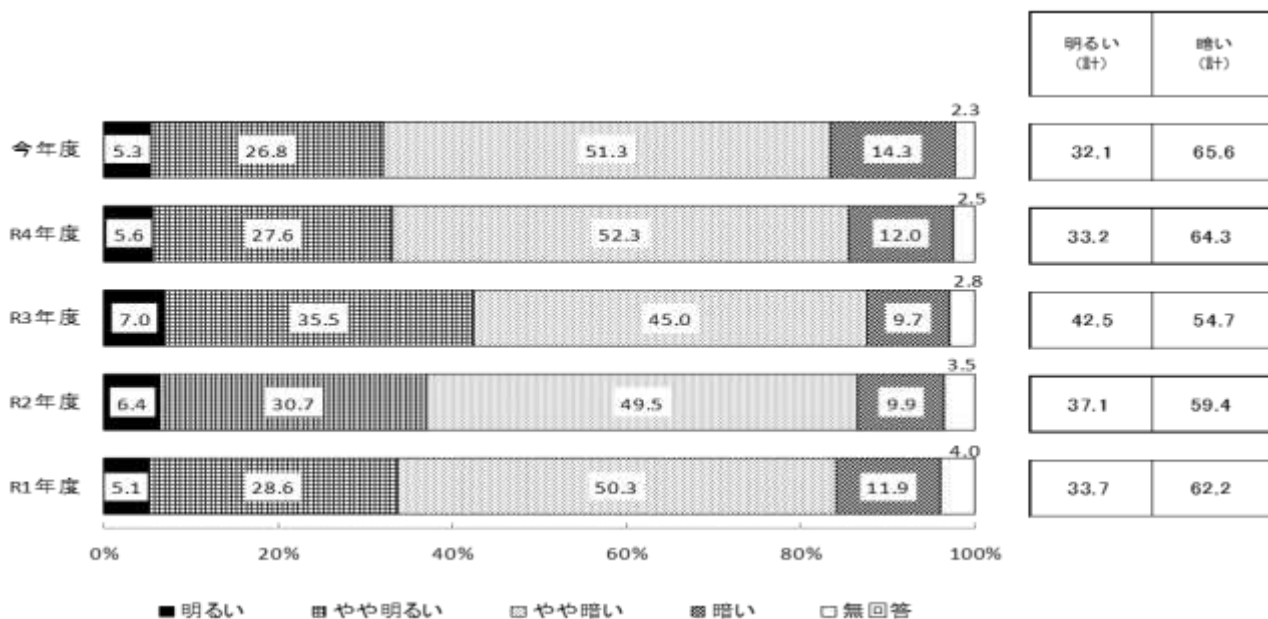
直近5年間の回答状況を見ると、『満足（計）』は4割半ばから5割台、『不満（計）』は4割前後から5割の間で推移している。



○今後の生活の見通し

今後の生活の見通しについて、「明るい」と「やや明るい」を合わせた『明るい（計）』が32.1%、「暗い」と「やや暗い」を合わせた『暗い（計）』が65.6%となっている。

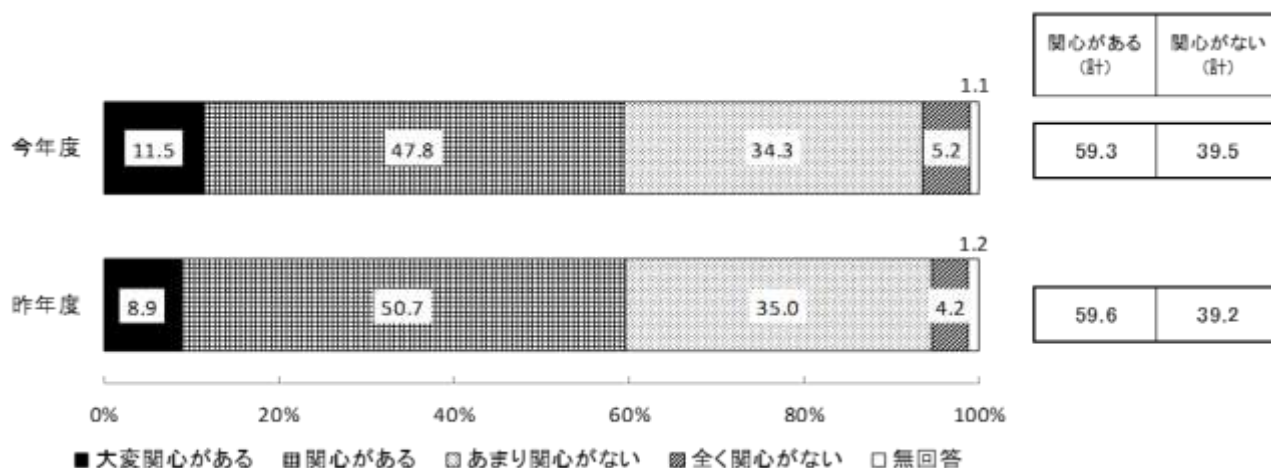
直近5年間の回答状況をみると、『明るい（計）』は3割強から4割強、『暗い（計）』は5割半ばから6割半ばの間で推移している。



2 政治や経済への関心

○県の政治や経済への関心

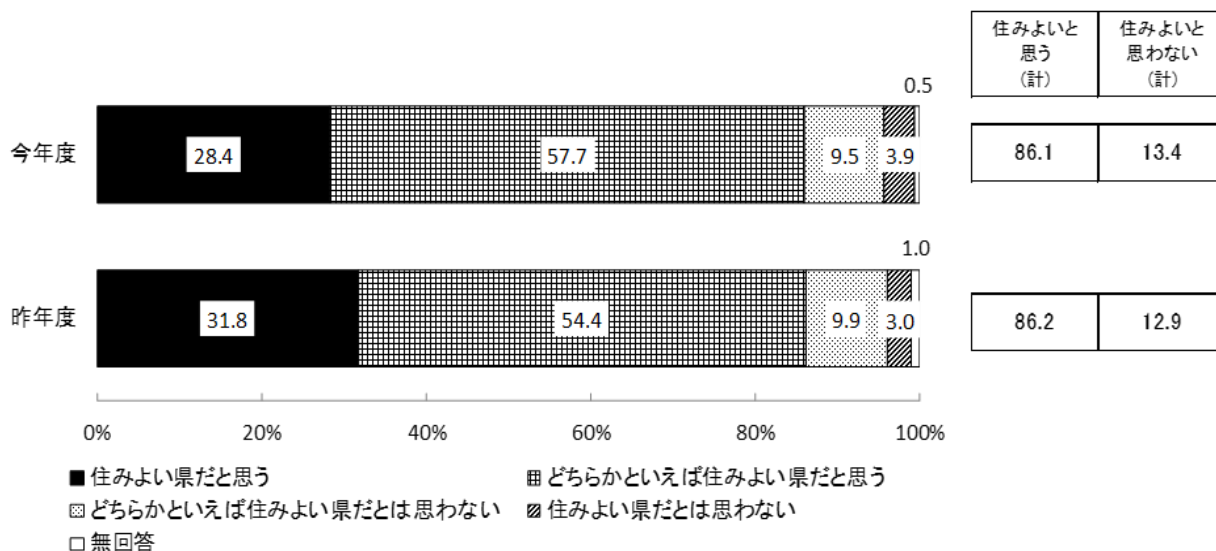
県の政治・経済に対する関心度について、「大変関心がある」と「関心がある」を合わせた『関心がある（計）』が59.3%、「全く関心がない」と「あまり関心がない」を合わせた『関心がない（計）』が39.5%と、関心を持つ人の割合が高くなっている。昨年度と比較して、差異はみられない。



3 県の取組に対する実感

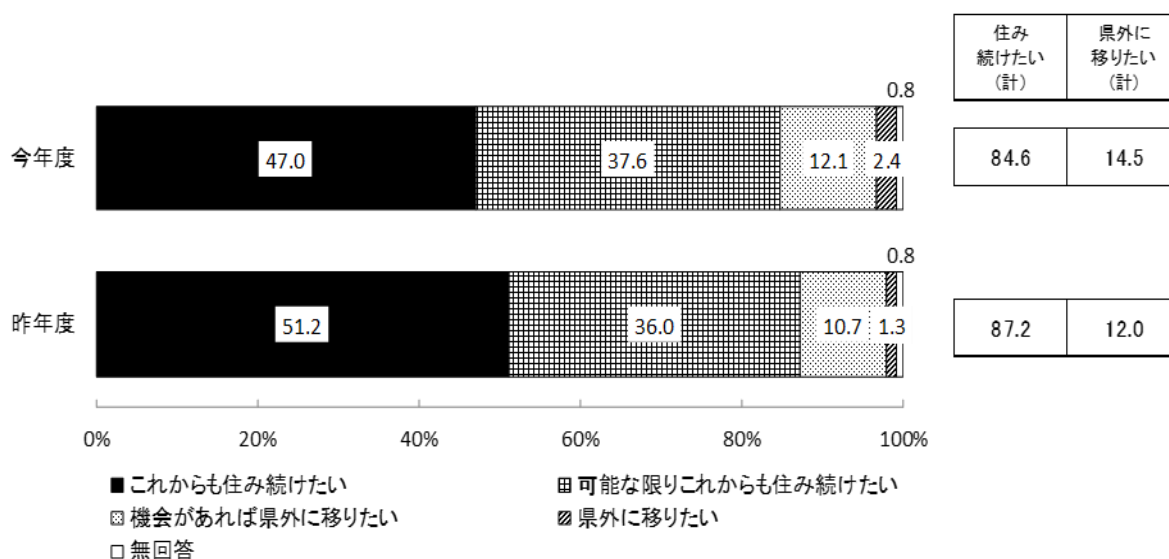
○山口県の住みよさ

山口県の住みよさについて、「住みよい県だと思う」と「どちらかといえば住みよい県だと思う」を合わせた『住みよいと思う（計）』が86.1%となっており、昨年度と比較して、差異はみられない。

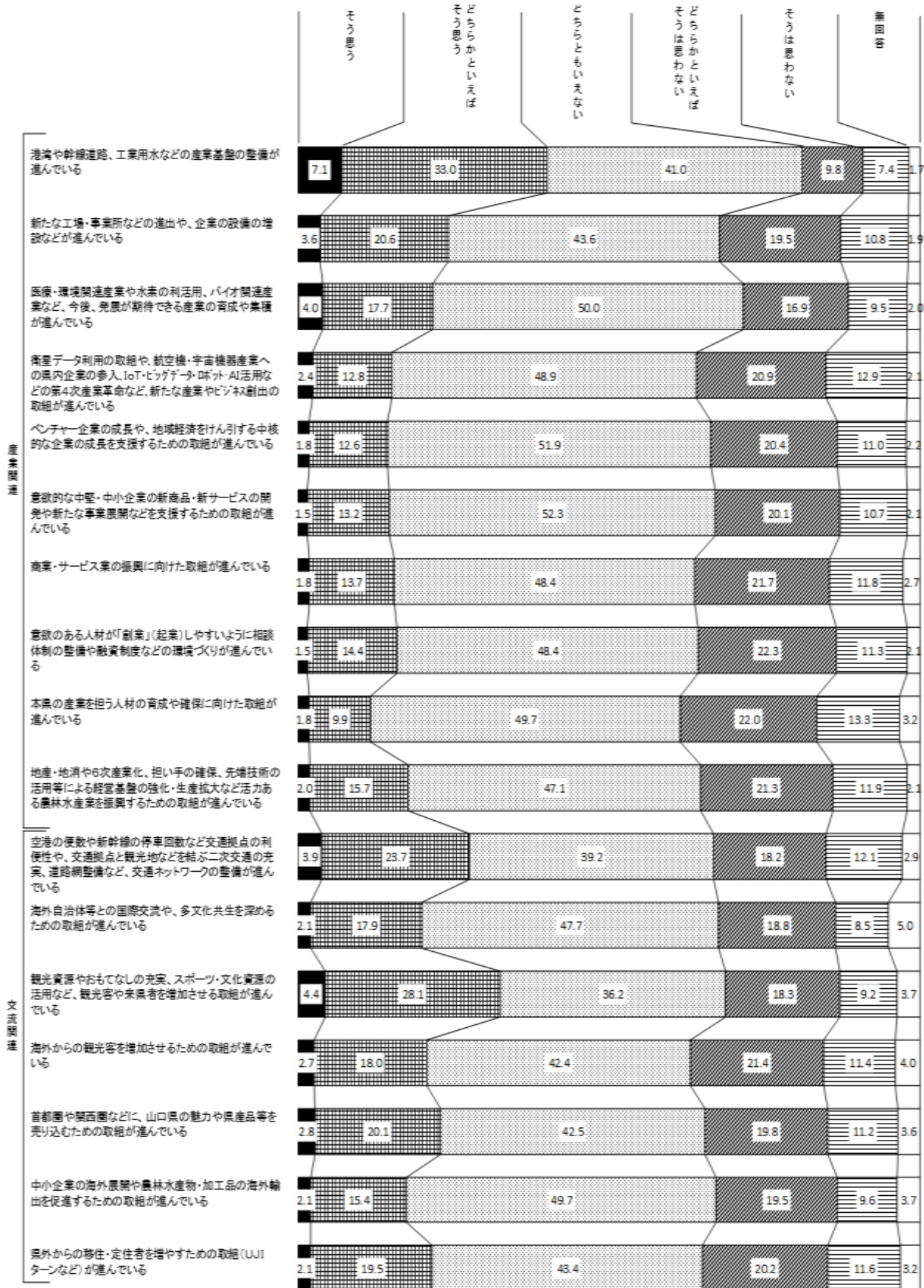


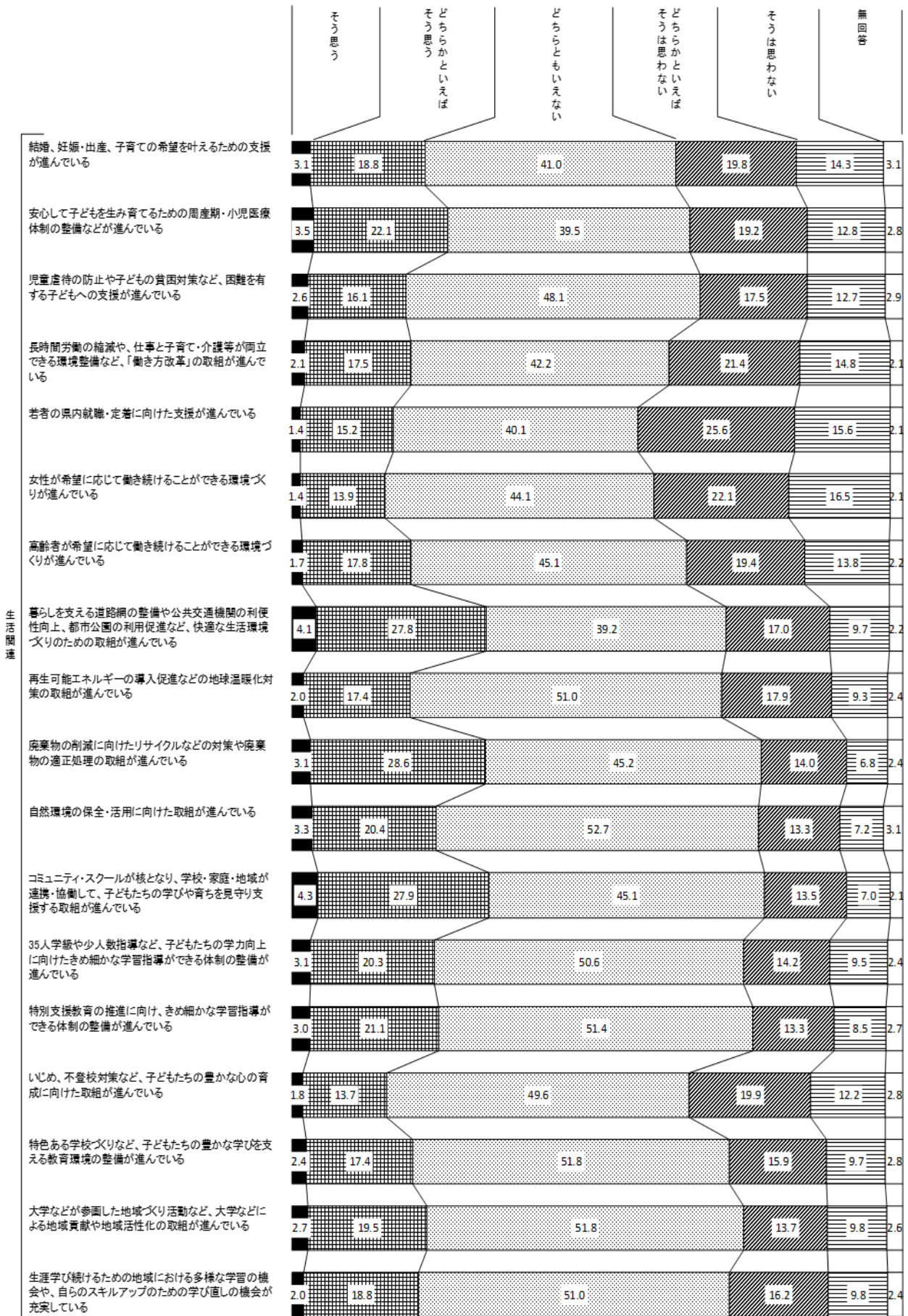
○今後の山口県への居住意向

今後の山口県での居住意向について、「これからも住み続けたい」と「可能な限りこれからも住み続けたい」を合わせた『住み続けたい（計）』が84.6%となっており、昨年度と比較すると、2.6ポイント低下している。

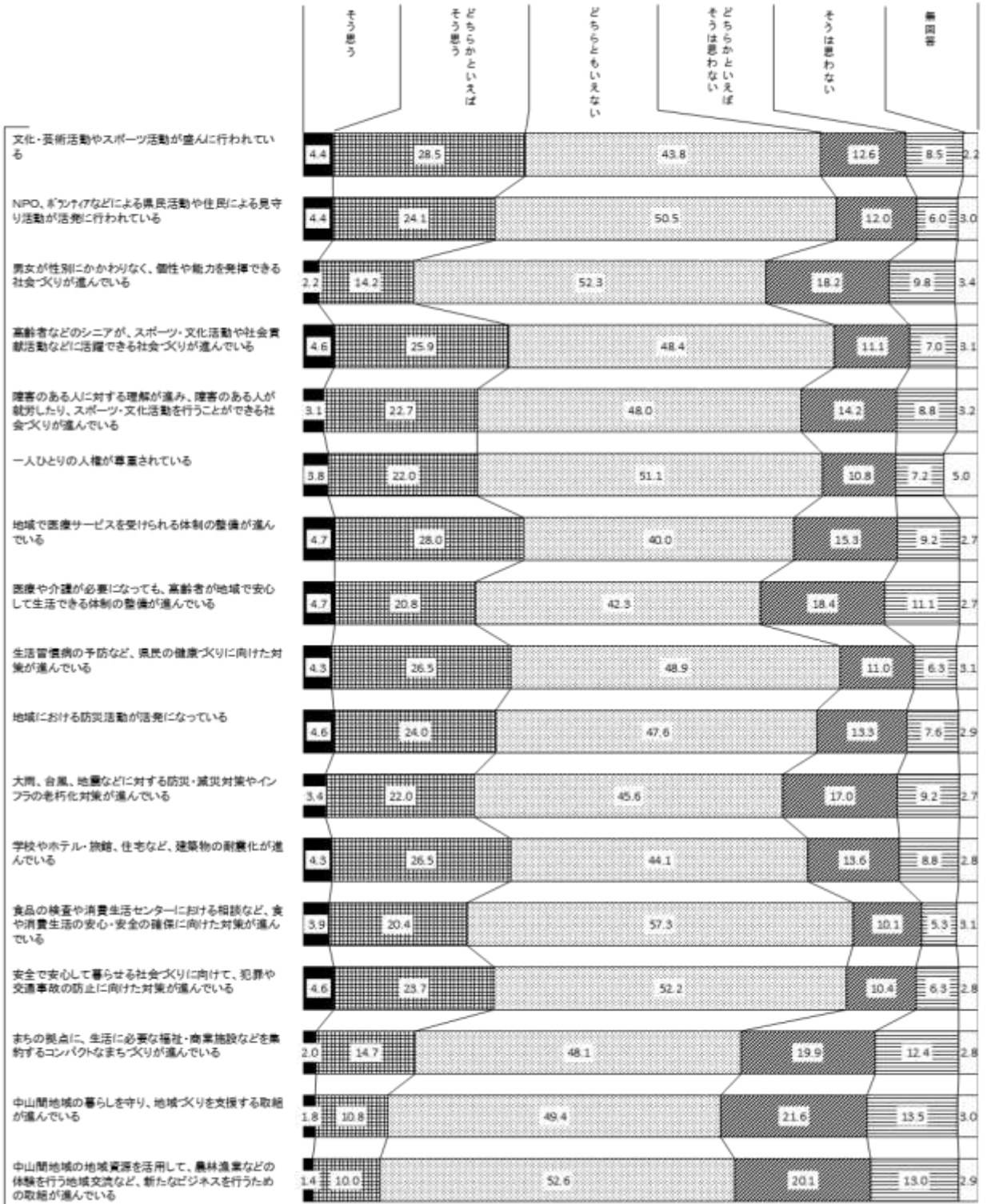


【県の取組に対する実感】「やまぐち維新プラン」の19プロジェクト等について





生活関連



行財政基盤の強化

